

和歌山大学学生挑戦コンテスト 2023

Wakayama University Students Challenge Contest 2023

募集要項

2023年9月

和歌山大学

## 和歌山大学学生挑戦コンテストの開催にあたって

和歌山大学経済学部同窓会である柑芦会に、和歌山高等商業学校(和歌山大学経済学部の前身)4期生の故香村常雄氏・富子氏ご夫妻のご遺志・ご遺産として約1億4千万円をご寄附いただきました。そのご遺志を後世まで引き継ぐことを願って、和歌山大学経済学部同窓会 柑芦会において「香村常雄基金」が設立されました。その基金をもとに、平成22(2010)年から和歌山大学の学生を対象に、勉学意識と社会的貢献意識の向上および就職支援を目的とした「香村賞ビジネスプラン」コンテストを開催してきました。

令和5(2023)年4月、全学組織として起業家精神を養う「アントレプレナーシップデザインセンター」が設置されました。このセンターでは、法人設立を伴う事業化支援に特化せず、「新しいことに挑戦し続け、自ら成長し続けられる人材」の育成を目的としています。このことから、これまであった「香村賞ビジネスプラン」コンテストを発展させ、これまでの要素も踏まえつつ、学生が主体的・実践的に挑戦する機会を創出し、その挑戦の実現を和歌山大学と同窓生等が応援することで、実社会での成功体験へとつなげるべく、新たに「和歌山大学学生挑戦コンテスト」を開催することとなりました。

今後、このコンテストが学生や教職員、同窓生をはじめとした関わる皆さんのアントレプレナーシップの醸成に貢献することを期待しています。

国立大学法人和歌山大学  
アントレプレナーシップデザインセンター

# 目次

## I.はじめに

## II.募集部門について

- キャンパスハック部門
- ビジネスアイデア部門
- ブリコラージュ部門

## III.応募について

- 応募資格
- 応募方法
- その他注意事項

## IV.賞金および副賞について

## V.審査について

- 審査方法
- 審査基準
- 審査スケジュール
- 最終審査会（コロナ感染症対策として）
- 審査委員
- 表彰式および交流会

## VI.注意事項

- 応募内容の取扱

## VII.問い合わせ先等

# I.はじめに

和歌山大学アントレプレナーシップデザインセンターの設置を契機として、既存の「香村賞ビジネスプラン」コンテストを発展させ、これまでの要素も踏まえつつ、学生が主体的・実践的に挑戦する機会を創出し、その挑戦の実現を和歌山大学と同窓生等が応援することで、実社会での成功体験へとつなげていく「学生挑戦コンテスト」を開催いたします。

「小さな挑戦経験の獲得と成功体験」につながるかを最重要視し、挑戦意欲の高い学生のやってみたいアイデアやプランを募集いたします。

## II.募集部門について

### 1. キャンパスハック部門

和歌山大学全体が、より良くなるための優れたアイデアやプランで実現の可能性が高い提案を募集します。キャンパスハック部門で受賞したアイデアやプランについては、大学や関係機関が、提案した学生とともに実現に向けて検討し、社会実装を目指します。

あなたのアイデアやプランで、和歌山大学と一緒にアップグレードしてみませんか。

### 2. ビジネスアイデア部門

自分の身の回りにある「困ったこと、不満なこと、不便なこと」を解消するアイデアや、「あったらいいな」と思える未来を明るくするような枠にとらわれない自由な発想のアイデアを募集します。

自分やチームのアイデアを客観的に聞いてみる感じで、気軽に応募してみてください。

### 3. ブリコラージュ部門

ブリコラージュとはフランス語で「繕う」を意味する bricoleur に由来し、「寄せ集めて自分で作る」「ものを自分で修繕する」など意味があります。

すでにある物・素材・技術を組み合わせ、新しい何かを創ることを目指しあなたの「やってみたい、またはやってみたこと」を募集します。

ブリコラージュ部門を受賞したアイデアやプランについては、実践・実行を前提としています。過去に実践したことや、現在もやっていることも応募は可能です。また、他の部門の応募者も実践・実行を前提とする場合に限り、重複応募は可能です。

# Ⅲ.応募について

## 1. 応募資格

和歌山大学に在籍する学部生、大学院生、外国人留学生の個人またはグループ(5人まで)。ただし、研究生、科目等履修生、聴講生、休学中の学部生や大学院生を含むことはできない。

## 2. 応募方法

応募用紙をダウンロードし、Moodleよりエントリー登録および応募用紙を提出してください。

### 1) 応募用紙

各部門の応募用紙は、以下の「学生挑戦コンテスト 2023」ページからダウンロードしてください。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/edc/entre-unit/busicon.html>



### 2) エントリー登録 および 応募用紙の提出

Moodleよりエントリー登録および応募用紙を提出してください。

<https://moodle2023.wakayama-u.ac.jp/2023/course/view.php?id=1311>

応募にあたっては、以下を登録する必要があるため、事前にメモ帳などに準備しておいてください。

- ・代表者の氏名・学部・学年・学生番号・メールアドレス・電話番号
- ・応募プランのタイトル(公開)
- ・応募プランの概要 100文字以内(公開)
- ・その他応募者全員の氏名・学部・学年・学生番号
- ・応募用紙の提出のファイル形式は「PDF」、ファイル名は「部門名\_代表者氏名」にしてください。  
(例:キャンパスハック\_和歌山太郎.pdf)

### ※ブライコラージュ部門へのエントリーについて

「キャンパスハック部門」および、「ビジネスアイデア部門」に応募する方は、ブライコラージュ部門に重複応募することができます。ただし、入賞した場合には何らかの形で実践・実行することが前提となります。重複応募する場合は、各部門の応募用紙にある左の□にを入れてください。

### 3) 動画提出について

応募内容をより分かりやすく伝えるために、動画を提出していただきます。テキストだけでは伝えきれないことを盛り込んだ動画でも構いません。ただし、1分程度の動画とし、YouTube 限定公開動画としてUPロードした限定URLを応募用紙に明記してください。

注1) 動画ファイルそのものの提出ではありません。

注2) 使用許諾・使用料等の所定手続きがとれていないものは使用不可。フリー素材等も利用条件にご注意いただき動画を作成し提出してください。

参考:YouTube 限定公開動画の設定方法などは、以下を参考にしてください。

Youtube ヘルプ:動画のプライバシー設定を変更する

<https://support.google.com/youtube/answer/157177>

### 3.その他注意事項

- ・応募後に応募内容・用紙の差し替え、修正、再送は締め切り期間内外であっても一切受け付けられません  
内容を十分に確認の上、提出してください。(例年、数件のミスがあります)
- ・受理通知の返信が、応募サイトの登録翌日(土日祝を除く)までにあることを確認してください。  
もし、返信がない場合は何らかのトラブルにより不達の可能性がありますので、  
「VI. 注意事項 2.問い合わせ先」までご連絡ください。

## IV.賞金及び副賞について

### 1)キャンパスハック部門

最優秀賞 10 万円(1 件) 副賞 学内実装に向けた交渉権

優秀賞 5 万円(1 件) 副賞 学内実装に向けた交渉権

### 2)ビジネスアイデア部門

香村賞 10 万円(1 件)

優秀賞 5 万円(1 件)

### 3)プリコラージュ部門

「アントレプレナーシップ賞」

賞金 なし

副賞 アントレプレナーシップデザインセンターによる受賞した企画の実現に向けた伴走支援

「企業賞」

賞金 5 万円 (ただし、提供企業様により金額が異なる場合があります。)

副賞 提供企業から実現に向けた半年程度の伴走支援

※各部門賞および企業賞は、応募内容および最終審査会のプレゼンテーションの内容によっては、特別に賞を出す場合や「該当者なし」と評価される等、受賞の件数が増減する場合があります。また、各賞は予告なく変更される場合があります。

# V.審査について

## 1. 審査方法

学内外の審査委員による「2段階審査」を行います。応募書類に基づく「書類審査」と、その上位者(10組程度)がプレゼンテーション(質疑応答を含む)を行う「最終審査」があります。

いずれも、各審査委員が下記の審査項目を評価し、その合計得点と審査委員による協議により受賞者を決定します。なお、書類審査及び最終審査の審議過程・内容に関する問合せには応じられません。

ただし、ブリコラージュ部門の企業賞の審査は、各提供企業様が審査いたします。

## 2. 審査基準

### 1)キャンパスハック部門

#### (A)提案の内容と貢献性

- ・単なる要望や陳情に留まらず、全学生・全教職員にとってキャンパス(施設だけにとまらず、大学の仕組みや周辺環境なども含む)がより良くなるための提案となっているか。
- ・他大学での事例や小さな工夫や改善など、提案内容の規模感に関係なく、和歌山大学にどう貢献できるか。

#### (B)構想のきっかけと着眼点

- ・大学生活を通じて大学をより良くするアイデアを思いついたきっかけ、あるいは自己の体験や背景について、全学的な共感性、普遍性、一体感があるか。
- ・着眼点に学生ならではのユニークな視点や新鮮さはあるか。常識にとらわれないチャレンジ性があるか。

#### (C)課題の発見と調査分析

- ・構想のきっかけは偶然であったとしても、なぜできないのか、なぜ進まないのかなど大学が抱える問題を見出し、定義できているか。(問題の構造化)
- ・提案内容が独りよがりなものでなく、学生や教職員などの意見などが調査・検討され、反映されているか。

#### (D)提案への熱意

- ・提案を実現したい熱意ある応募内容、動画(最終審査では発表も含めて評価)となっているか。
  - ・応募内容(発表も含む)は、データや実際に意見など用いてわかりやすい表現になっているか。
- プレゼンテーションの上手さや発表資料(スライド)のきれいさよりも、提案内容への思い入れ、実現したい熱意を重視する。

### 2)ビジネスアイデア部門

#### (A)提案の内容とユニークさ(面白さ、独創性)

- ・個人的な課題、社会的な課題に関わらず、着眼点に学生ならではのユニークな視点や新鮮さはあるか。
- ・常識にとらわれないチャレンジ性があるか。提案内容にこれまでにない新しい発想・思想や独自性・独創性があるか。

#### (B)提案内容の差別化(新規性、客観性)

- ・競合となる先行する事業やサービスを広い視点(直接競合、間接競合の両方の視点)で調査して見出し、実際に使ってみる、ユーザーテストなどを通じた分析を行っているか。
- ・提案する商品・サービスがどのように違うのか、どこに新たな価値があるか、切り口が新しいか(業界初、地域初など)などが明確に示されているか。

### (C) 提案内容の共感性と市場性

- ・提案内容がユーザーにとって価値ある提案になっているか、お金を払ってでも欲しいと思わせるものであるか。
- ・提案内容が実現可能かどうか、市場規模の多寡は重視しない。すぐには実現が難しく、小さい市場であっても訴求力が高く、必要とする人や社会が明確になっているかを重視する。

### (D) 提案への熱意

- ・提案への思い入れある応募内容、動画(最終審査では発表も含めて評価)となっているか。
- ・応募内容(発表も含む)は、データや実際に意見など用いてわかりやすい表現になっているか。
- ・プレゼンテーションの上手さや発表資料(スライド)のきれいさよりも、提案内容への思い入れ、実現したい熱意を重視する。

## 3) プリコラーージュ部門

### (A) 提案の内容とユニークさ(面白さ)

- ・提案内容について、実際にやってみたい(やってみたこと)に込める思い・情熱を表現し、その源泉やきっかけがどこにあるのかなどが表現されているか。
- ・社会的な必要性や有用性よりは、学生ならでの発想の面白さ、斬新さ、独自性・独創性があるか。

### (B) 実践のための材料や技術

- ・やってみたい(やってみたこと)を実現するために、用いた素材、材料、部品、技術などの探究がなされているか。
- ・単純な組み立てだけに留まるものよりは、自分が実際に行う作業や行動、そのために必要な工夫が明確に示されているか。
- ※「やってみたこと」を提案する場合は、さらに進化・深化させるための内容が含まれているか。

### (C) 提案への熱意

- ・提案を実現したい熱意ある応募内容、動画(最終審査では発表も含めて評価)となっているか。
- ・応募内容(発表も含む)は、データや実際に意見など用いてわかりやすい表現になっているか。
- プレゼンテーションの上手さや発表資料(スライド)のきれいさよりも、提案内容への思い入れ、実現したい熱意を重視する。

## 3. 審査スケジュール

- 1\_募集期間: ~11月6日(月) 13時厳守
- 2\_書類審査期間: 2023年11月9日(木)~11月17日(金)
- 3\_書類審査結果: 2023年11月22日(水)
- 4\_最終審査会: 2023年12月9日(土) 10時~(学内にて)
- 5\_表彰式・交流会: 2023年12月9日(土) 夕方~(最終審査会後に開催予定)

最新情報は、本学ホームページか「VI. 注意事項 2.問い合わせ先」までお問合せください。

※審査スケジュールは予告なく変更される場合があります。

## 4. 最終審査会について

最終審査会は、書類審査通過者が審査員に対して本学キャンパス内においてプレゼンテーションを行う形式で開催されます。



## 5.審査委員

審査委員は、本学学長を審査委員長として、学内審査委員、学外審査委員及び企業賞提供機関によって構成されます。ただし、審査委員及び委員数は予告なく変更される場合があります。

## 6.表彰式および交流会

最終審査会后、同日、表彰式及び交流会を開催します。この交流会では応募者と審査委員とがアイデアやプランに対する意見交換、助言・講評を直接聞きながら、より良いアイデアやプランへと改善する機会として設けるものです。是非、応募者の皆さんは積極的に参加ください。

なお、入賞者については後日、学内掲示板及び本学ホームページ上にて公表いたします。

# VI.注意事項

### 応募内容の取扱

- 1) 応募されたプランは、審査会等において発表することに同意したものと取り扱います。また、和歌山大学及び企業賞提供機関のホームページや報告書への掲載、企業賞提供機関への情報提供を行うことがあります。あらかじめご了承ください。
- 2) 特別な事項(ノウハウや営業の秘密事項など)については、法的保護を行うなど応募者の責任で対応してください。
- 3) 応募内容、受賞者の情報については、報道機関などに提供することがあります。

# VII.問い合わせ先等

和歌山大学 アントレプレナーシップデザインセンター

研究・社会連携課 起業支援係(北1号館1階)

電話:073-457-7575

メール:[wadai\\_challecon@ml.wakayama-u.ac.jp](mailto:wadai_challecon@ml.wakayama-u.ac.jp)

当コンテストだけでなく、事業を起こしたい学生やアントレプレナーシップに関する事など、随時相談を受け付けております。個別に相談したい方は、以下の相談窓口から予約してください。

個別相談のWEB予約はコチラ：<https://www.wakayama-u.ac.jp/edc/entre-unit/index.html>